

第53回東北地区高等専門学校体育大会

八戸大会 競技要項

【開催種目】

バスケットボール	レスリング	柔道	硬式野球	水泳
----------	-------	----	------	----

主管校：八戸工業高等専門学校

バレーボール競技

日 時 平成28年7月2日(土) 9:30
3日(日) 9:00
会 場 1日目 男子:十和田市総合体育センター
女子:六戸町総合体育館
2日目 男女:十和田市総合体育センター

競 技 役 員

総務委員長
総務副委員長
委員
競技委員長
競技副委員長
委員
審判長
副審判長
審判員
ラインジャッジ
医務員
競技補助員

競 技 要 項

1. 競技人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手14名以内、計17名以内とする。
2. 競技規則 (1) 2016年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
(2) 試合球は、全国大会に準じて(公財)日本バレーボール協会公認球(5号球、カラーボール)とする。
3. 競技方法 (1) 7チームをA(3チーム)、B(4チーム)2つのブロックに分け、リーグ戦を行う。前年度優勝校及び2位のチームをシードし、優勝校をAブロックのAに、2位のチームをBブロックのDに振り分ける。各ブロックの上位2チームで決勝トーナメント戦を行う。
その組合せは次のとおりとし、全試合3セットマッチとする。ただし、3位決定戦は行わない。
Aブロックの1位チームとBブロックの2位チーム
Bブロックの1位チームとAブロックの2位チーム
(2) 同一チームが連続して試合をする場合は、最大20分の休憩をとることとする。
(3) リーグ戦における順位は、次の順序に従って決定する。
[ア] 勝率による。
[イ] セット率(取得したセットの総数を、喪失したセットの総数で除したもの)

が高いほど上位とする。

[ウ] ポイント率（全試合の総得点数を全試合の総失点数で除したもの）が高いほど上位とする。

[エ] なお、決しない場合

① 2チームの場合は、相互の試合で勝ったチームを上位とする。

② 3チームの場合は、抽選による。

4. その他
- (1) 出場チーム数が7チームに満たない場合や競技会場の制約等により、競技方法の変更が必要となった場合には、協議の上決定するものとする。
 - (2) 競技進行の詳細は、代表者会議において確認及び決定するものとする。

ソフトテニス競技

日 時 平成28年7月2日(土) 8:30

3日(日) 8:30

会 場 (晴天時) 八戸市立東運動公園テニスコート

(雨天時) 男子: 南部町民体育館

女子: 三戸町スポーツ文化福祉複合施設

競 技 役 員

総務委員長
委員長
競技委員長
委員長
審判長
審判員
医務員
競技補助員

競 技 要 項

1. 参加登録 1校(または1キャンパス)から監督2名(男女各1名)、コーチ1名、マネージャー1名、男子選手10名以内、女子選手6名以内、計20名以内とする。
2. 競技人員 (1) 団体戦1校(あるいは1キャンパス)1チーム、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手8名(代表者会議で登録した者に限る)以内
(2) 個人戦
【男子ダブルス】1校(あるいは1キャンパス)4ペア以内
【女子ダブルス】1校(あるいは1キャンパス)3ペア以内
【女子シングルス】1校(あるいは1キャンパス)4名以内
3. 競技規則 (1) 平成28年度(公財)日本ソフトテニス連盟発行「ソフトテニスハンドブック」による。
(2) 使用球は、全国高専体育大会の使用球とする。(平成28年度は、団体戦をケンコーボール、個人戦をアカエムとする。)
4. 競技方法 (1) 団体戦
[ア] 7チームをA(3チーム)、B(4チーム)2つのブロックに分けリーグ戦(点取り法)を行い、各ブロックの上位2チームで決勝トーナメント戦を行う。
その組合せは次のとおりとし、3位決定戦を行う。
Aブロック1位とBブロック2位
Bブロック1位とAブロック2位
[イ] ダブルス3ペア対抗の7回ゲームとする。ただし、決勝トーナメント戦及び3位決定戦については、一方のチームが2点先取した場合は、残り試合は行わない。
[ウ] リーグ戦の順位決定方式は再試合を行わず(公財)日本ソフトテニス連盟発行

「ソフトテニスハンドブック」による。

[エ] オーダーの提出は試合開始5分前又は前試合終了直後とする。

(2) 個人戦

【男子ダブルス】 トーナメント戦とし、7回ゲームとする。3位決定戦を行う。

【女子ダブルス】

[ア] リーグ戦とし、各ブロック1位のペアで決勝トーナメント戦を行う。
3位決定戦を行う。(リーグ数はエントリー数に応じて決定することとし、リーグ数3の場合は、各リーグ1位で決勝リーグを行う。)

[イ] 7回ゲームとする。

[ウ] リーグ戦の順位決定方式は再試合を行わず(公財)日本ソフトテニス連盟発行「ソフトテニスハンドブック」による。

【女子シングルス】 トーナメント戦とし、7回ゲームとする。

5. その他 ユニフォームおよびシューズは、原則として(公財)日本ソフトテニス連盟の「ユニフォーム使用基準」に従う。

柔道競技

日 時 平成28年7月2日(土) 9:00

3日(日) 9:00

会 場 八戸工業高等専門学校第一体育館

競技役員

総務委員長
委員長
競技委員長
委員長
審判長
審判員

医務員
競技補助員

競技要項

1. 競技人員 (1) 団体戦1校1チーム、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手7名以内(試合出場5名)
(2) 個人戦
【男子】1校8名以内(各階級2名以内)
【女子】1校8名以内(各階級2名以内)
2. 競技規則 (1) 「国際柔道連盟試合審判規定」による。
(2) 「優勢勝ち」の判定基準は、次のとおりとする。
[ア] 団体戦においては、「有効」又は「僅差」以上とする。
団体戦での「僅差」は、「指導差が2」以上とし、「技の内容」と「僅差」の重みを次の項目順とする。一本勝=反則勝>技有>有効>僅差
[イ] 団体戦の代表戦及び個人戦においては、「有効」又は「指導」以上とし、得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式で勝敗を決する。
(3) 試合時間は団体戦、個人戦ともに4分とする。
(4) 関節技において、その効果があると認めるとき、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。但し、絞め技においては、見込みによる判定を行わない。
(5) 団体戦の代表戦及び個人戦において、両試合者が「累積による同時反則負け」の場合は、ゴールデンスコア方式で勝敗を決する。

3. 競技方法

(1) 団体戦

[ア] 5チームのリーグ戦とする。

[イ] 5名による勝点法で行う。

[ウ] リーグ戦内のチームの勝敗決定は、勝本数の多いチームを勝ちとする。

勝本数が同数の場合は、勝内容による。勝内容は、1本勝ち、総合勝ち10点、技ありによる優勢勝ち7点、有効による優勢勝ち5点、僅差による優勢勝ち3点、引き分け0点（反則、不戦、棄権、失格、負傷による勝ち10点とする。）とし、その合計点が同点の場合は、引き分けとする。

[エ] リーグ戦の順位の評定は、勝ち数の多いチームを上位とする。

勝ち数が同数の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。

勝ち負け同数の場合は、勝ち本数合計の多いチームを上位とする。

勝ち本数合計が同数の場合は、勝ち内容により合計点で決定する。

それでも順位が決しない場合は、代表戦を1回行い、「有効」又は「指導」以上とし、得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い勝敗を決する。

[オ] オーダーの提出は、試合開始5分前までとし、選手7名以内より5名を選出する。

なお、オーダーは試合ごとに組替えしてもよい。所定の時間内にオーダーの提出がない場合は、前試合と同じオーダーで試合しなければならない。

(2) 個人戦

[ア] トーナメント戦とする。

3位決定戦を行う。

[イ] 階級別は次のように分ける。

【男子】

① 60kg級

② 73kg級

③ 90kg級

④ 90kg超級

【女子】

① 48kg級

② 52kg級

③ 63kg級

④ 63kg超級

ただし、1階級上には出場することができるものとする。

[ウ] 計量

男女とも、平成28年7月1日(金) (午後1時30分～午後2時30分 [代表者会議前]) に競技会場で行う。規定の時間内に計量を受けなかった者及び合格しなかった者は失格とする。

また、計量の結果は代表者会議の席上で報告されるものとする。

4. その他

(1) 選手は、上衣の背部に、全日本柔道連盟規定のゼッケンをつけること。

硬式野球競技

日 時 平成28年7月2日(土) 9:30
10:00
3日(日) 9:30
会 場 十和田市営球場、軽米町営球場
雨天順延の場合 4日(月)・5日(火)

競 技 役 員

総務委員長
委員長
競技委員長
委員長
審判長
審判員
記録員
医務員
競技補助員

競 技 要 項

1. 参加資格 出場選手（女子を含む）は、各県の高等学校野球連盟に加入登録していない者に限る。
2. 競技人員 部長1名、監督1名、マネージャー1名、選手18名以内、計21名以内
3. 競技規則 (1) 2016年度公認野球規則による。ただし、特別規則は別に定める。
(2) 使用球は公認球とする。
4. 競技方法 (1) 競技はトーナメント戦とし、3位決定戦を行う。
(2) 日没、降雨、雷等が生じた場合の試合の続行は、競技委員、総務委員及び審判員の協議により決定する。
(3) 前項により試合の続行が不可能となった場合は、
[ア] 7回未満のときは、ノーゲームとし、再試合を行う。
[イ] コールドゲームは、7回完了若しくは6回半終了とする。
(4) 7回完了若しくは6回半終了までに点差が7点以上になった場合は、コールドゲームとする。ただし、決勝戦を除く。
(5) 延長戦は15回で打切り、再試合を行う。
(6) 雨天の場合は2日間順延とする。ただし、3位決定戦を行わない。2日間の順延後、なお競技が終了しない場合は、次のとおりとする。
[ア] 2チームが勝ち残っている場合は、

①両チームを1位とする。

②全国高専体育大会の出場については、両チームの協議により決定する。

[イ] 3チーム以上が勝ち残っている場合は、

①競技を中止する。

②全国高専体育大会の出場校は、協議により決定する。

5. その他

- (1) 第2試合以降は、開始予定時刻を繰り上げて実施することがある。
- (2) 試合に出場するチームは、試合開始予定時刻30分前に集合し、攻守決定とメンバー表の交換を主将によって行う。メンバー表は5通提出すること。攻守の順序は、主将のジャンケンによって決める。
- (3) ベンチサイドは、組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- (4) 試合前のシートノックは、各7分とする。
- (5) 危険防止のため、打席に入るとき及び走者となったときは、必ず両耳付きのヘルメットを着用すること。
- (6) 捕手が座って投球を受ける場合は、試合中、練習中を問わず必ずマスク、ヘルメットなどの捕手用具を着用すること。
- (7) 手袋、リストバンドの使用を認める。
- (8) スパイク表面の色彩をチームで統一し、黒色とすること。
- (9) 試合中攻守交代は、特に迅速にすること。
- (10) 攻撃および守備のタイムは1試合にそれぞれ3回までとする。延長に入った場合、それ以前の回数に関係なく、1イニングにつき1回までとする。
- (11) 審判員に対する申出及び規則上の疑義の申入れは、主将及び当事者に限る。監督及び選手は、審判員の判定には絶対服従すること。
- (12) バット、ヘルメット、キャッチャーの防具の点検は、審判員が行う。
- (13) 選手は必ず1番から29番までの背番号をつけること。ただし、主将は背番号10番とする。
- (14) 球場内のブルペンを使用する場合は、試合をしている該当チームの許可を得ること。
- (15) 各球場の「利用の心得」を遵守すること。

サッカー競技

日 時 平成28年7月2日(土) 9:00
3日(日) 9:00
会 場 五戸ひばり野運動公園サッカー場
五戸ひばり野運動公園陸上競技場

競技役員

総務委員長
副委員長
委員
競技委員長
副委員長
委員
規律委員長
副委員長
委員
審判委員長
副委員長
審判員
医務員
競技補助員

競技要項

1. 競技人員 (1) 監督1名、コーチ1名、マネージャ1名、選手17名以内、計20名以内
(2) 外国人留学生及び編入学生のエントリー数は6名以内とする。そのうちで同時に出場できるのは3名以内とする。
2. 競技規則 (1) 2016年(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
(2) 使用球は、(公財)日本サッカー協会公認球(5号球)とする。
3. 競技方法 (1) 7チームをA(3チーム)、B(4チーム)の2ブロックに分け、Aブロックはリーグ戦、Bブロックはリンク戦を行い、各ブロックの1位同士で決勝戦、2位同士で3位決定戦を行う。
(2) リーグ戦およびリンク戦の試合時間は60分、ハーフタイムのインターバルは5分とする。決勝戦および3位決定戦の試合時間は80分、ハーフタイムのインターバルは10分とする。
(3) リーグ戦、リンク戦での各試合について延長戦は行わない。試合時間内に勝負が決しない場合はPK方式により勝利チームを決定する。
(4) 決勝の延長戦は20分とする。それでも決しない場合はPK方式により決定する。
(5) 3位決定戦の延長戦は行わない。試合時間内に勝負が決しない場合は両方を3

位とする。

- (6) リーグ戦，リンク戦の順位は，次の順序に従って決定する。
 - a. 勝ち点（勝ち3点，PK勝ち1.5点，PK負け1点，負け0点）の合計
 - b. 得失点差
 - c. 総得点数
 - d. 当該チーム間での勝ち点の合計
 - e. 当該チーム間での得失点差
 - f. 当該チーム間での総得点数
 - g. コイントス
- (7) 競技開始前に最大限6名までの交代要員の氏名を通告しておき，6名すべて交代することができる。
- (8) 本大会において退場を命じられた競技者は，次の1試合に出場できず，それ以後の処置については本大会の規律委員会で決定する。
- (9) 本大会において警告を2度受けた競技者は，次の1試合の出場資格を失う。

4. その他

- (1) ユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）は正のほかに、副として正と異なる色のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、必ず携行すること。ユニフォームの参加申込以後の変更は認めない。なお、背番号の変更も認めない。
- (2) 選手は、審判と同一色又は類似色のユニフォームのシャツを着用することはできない。
- (3) 背番号は、必ず参加申込書に登録された選手固有の番号をつけること。大きさは縦25cm程度、横はこれに比例して適当な大きさで、番号は見やすいものとする。
なお、背番号は1番から17番の通し番号とすること。ユニフォームのシャツが縞（縦縞も横縞も）の場合は、白布地（縦30cm×横30cm）に背番号を付け、分かりやすくすること。
- (4) 選手は必ず日本サッカー協会選手証を携行し、代表者会議においてチーム每一括して、提出すること。
- (5) シード校は次の方法による。
 - ① 主管校をBブロックのDに置く。
 - ② 前年度優勝チームを第1シード，準優勝チームを第2シードとし，第1シードをAブロックのA，第2シードをBブロックのGに置く。
 - ③ 主管校とシード校が重複した場合は，①を優先し，第2シードをAブロックのAに置く。
- (6) 不測の事態で競技が中断した場合は，その中断した状態から再開する。その際は競技本部へ必ず報告する。最大1時間を基準に判断する。
- (7) 全国大会へは2校が出場するものとする。
- (8) 全国大会への出場がかかる3位決定戦において、試合時間内に勝負が決しない場合は両方を3位とする。その上で20分の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK方式により出場校を決定する。

水 泳 競 技

日 時 平成28年7月2日(土) 9:30

3日(日) 9:00

会 場 八戸高専工業高等専門学校プール

競 技 役 員

総務委員	長
総務委員	員
競技委員	長
競技副委員	長
審判	長
副審判	長
泳法審判員	員
出発合図員	員
折返監察員	員
計時員	員
記録員	員
計時員	員
機械操作員	員
招集員	員
通告員	員
賞典員	員
場内指令員	員
受付係員	係
救護員	員
受付係員	係
医務員	員
競技補助員	員

競 技 要 項

1. 競技種目

種 目	男 子	女 子
自 由 形	50m 100m 200m 400m 800m	100m <u>200m</u>
背 泳 ぎ	100m 200m	50m <u>100m</u>
平 泳 ぎ	100m 200m	100m <u>200m</u>
バ タ フ ラ イ	100m 200m	50m <u>100m</u>
個人メドレー	200m	
リ レ ー	400m <u>800m</u>	200m <u>400m</u>
メドレーリレー	400m	<u>200m</u>

※アンダーラインの種目は全国大会にない種目である

2. 競技規則

平成28年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則による。

3. 競技人員

- (1) 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名
- (2) 1校1種目3名以内、1人2種目以内（ただし、リレーは除く）
- (3) リレーは1校1チームとする。
- (4) リレーは補欠とも6名まで、メドレーリレーは補欠とも8名までとする。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

4. 競技方法

- (1) 男女とも学校対抗とし、総合得点の最多得点校を優勝校とする。
- (2) 得点は、個人・リレーとも、1位8点、2位6点、3位5点、4位4点、5位3点、6位2点、7位1点とする。同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与える。
- (3) 総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。
 - ① リレーによる得点の多い学校
 - ② 入賞者の多い学校（ただし、リレーは4として計算する。）
 - ③ 1位の数
 - ④ 2位の数の多い学校（以下、7位までこれにならう。）
- (4) 各種目の決勝は、予選タイムレース上位7位で行う。ただし、出場選手が7名以下の種目は、予選を実施せず決勝のみを実施する。
- (5) 予選において同タイムにより決勝人員を超過した場合は、スイムオフを行わず抽選により決勝進出者を決定する。
- (6) 800m 自由形はタイムレース決勝とする。
- (7) リレー種目においては、第1泳者の記録を正式時間とする。

バドミントン競技

日 時 平成28年7月2日(土) 9:00

3日(日) 9:00

会 場 八戸市体育館

競 技 役 員

競 技 役 員 長

(レフリース)

競 技 審 判 部 長

(デビュティールーフリース)

審 判 員

競 技 委 員 長

競 技 委 員

総 務 部 長

総 務 委 員

医 務 員

競 技 補 助 員

競 技 要 項

1. 競技人員 (1) 団体戦男子、女子各1校1チーム、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手4～8名とする。ただし、欠員を生じ選手が3名以下となった場合は失格とする。
(2) 個人戦
シングルス5名以内 ダブルス3組以内
2. 競技規則 (1) 現行の(公財)日本バドミントン協会競技規則による。
(2) 使用シャトル及びネットは、(公財)日本バドミントン協会検定合格のものとする。
3. 競技方法 (1) 団体戦
[ア] トーナメント戦とし、3位決定戦は行わない。女子団体戦において出場チームが3チームの場合のみリーグ戦を行う。
[イ] 1ダブルス、2シングルスの対抗とし、原則としてダブルスから試合を行う。同一選手がダブルス、シングルスに重複して出場することはできない。
[ウ] とちらかのチームが2マッチを取った時点で終了とし、進行中のマッチは無効とする。
[エ] オーダーの提出は、試合開始10分前とする。
[オ] リーグ戦における順位は、次の順序に従って決定する。
(A) 勝率の高い方を上位とする。
(B) 3チーム同率になった場合。
①取得マッチ率(自チームが取得したマッチ数÷自チームがプレーし

た全マッチ数)の多い方を上位とする。また、同位校がいれば互いの対戦結果の勝者を上位とする。

②取得ゲーム率の多い方を上位とする。また、同位校がいれば互いの対戦結果の勝者を上位とする。

③取得ポイント率の多い方を上位とする。

(2) 個人戦

トーナメント戦とする。

4. その他

(1) 競技時の服装は、白色または(公財)日本バドミントン協会検定合格品とする。

(2) 選手は、背中に学校名と姓または学校名と都道府県名を横書きしたゼッケン(縦15cm×横30cm)をつける。ただし、プリントも可とする。

(3) 団体戦のシードは、前年度1位と2位をシード校とする。

(4) (公財)日本バドミントン協会の登録番号は、申込書の所定欄に記入する。